



学長 井上 博司

大阪人間科学大学は建学の精神「敬・信・愛」のもと、「人間とは何か」を原点に、平成13(2001)年度に2学科から成る人間科学部をもって開学しました。平成24(2012)年度には、社会福祉学科、健康心理学科に、新たに医療福祉学科、子ども福祉学科(現 子ども教育学科)、医療心理学科の3学科を設置し、平成28(2016)年度には理学療法学科を開設し、6学科体制のもと、対人援助分野で活躍できる専門職業人の育成に特化した、より魅力のある大学へと生まれ変わりました。令和2(2020)年度には新たに作業療法学科を開設し、3学部7学科への再編成により「対人援助の総合大学」へと進化しました。さらに、令和6(2024)年度には人間科学部に、様々な社会課題を発見・解決するための実践的なスキルや知識を学ぶ社会創造学科を、心理学科に心理学をベースに幅広い分野で活躍できる人材の育成を目指す、マーケティング心理コースを新たに設置することとして

います。また、令和5(2023)年4月には長期ビジョン「大阪人間科学大学ビジョン2040」を策定し、令和22年(2040)年までに達成する目標として、「人と社会を支えるプロフェッショナルを目指す、学生一人ひとりの夢や志を確かな形にするイノベティブな『実学教育』を推進し、『学生の成長度日本一の大学』を目指す」ことを掲げました。そして、この目標を受け、教育、研究、社会貢献の3分野において、本学が学生や保護者そして社会に対してコミットする3か条を宣言しました。

平成18(2006)年度に開設された大学院人間科学研究科では、建学の精神を踏まえつつビジョンの目標達成に向けて、日々教育研究活動に取り組んでいます。

本研究科では、人間一人ひとりが、より健康でより活かに満たしたい状態(ウェルビーイング)を創出するにはどうすれば良いのか、を積極的に問いかけ、心理学及び周辺の諸科学を学際的に総合しつ、新しい人間科学の展開を図ることを目的としています。

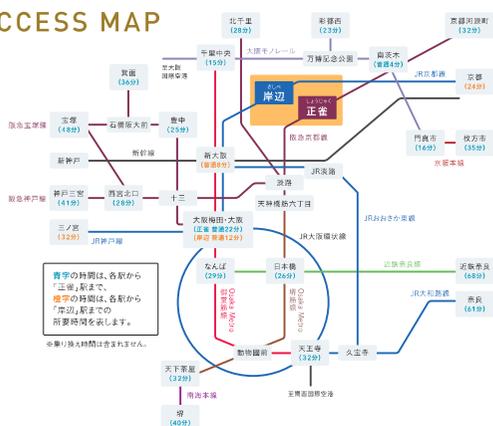
長期履修制度の導入や、平成30(2018)年度からの公認心理師の資格取得に向けたカリキュラムの編成において、研究科の方向性を更に明確化し、人間科学における科学的知見と臨床的実践力を通して人びとの心身における健康の回復、維持、及び増進に寄与し、心豊かな高度専門職業人の育成に努めています。

大学院教員 専門領域

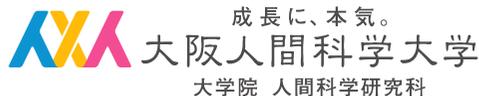
- 研究科長 大野 太郎 教授 [公認心理師・臨床心理士]
ストレスマネジメント教育 EAP 産業カウンセリング 非行犯罪臨床
堤 俊彦 教授 [公認心理師・臨床心理士]
児童臨床心理学 行動療法
芹田 卓身 講師 [公認心理師・臨床心理士]
非行犯罪臨床 思春期臨床
筒井 優介 講師 [公認心理師・臨床心理士]
臨床心理学 心理療法 箱庭療法
坂下 英淑 助教 [公認心理師・臨床心理士]
臨床心理学 職場のメンタルヘルス 産業カウンセリング
羽下 飛鳥 助教 [公認心理師・臨床心理士]
臨床心理学 異文化適応

- 副学長 山岸 正和 教授 [医師]
総合内科学(総合内科専門医) 循環器内科学(循環器内科専門医) 総合医学教育
日上 耕司 教授 [公認心理師]
応用行動分析学 発達障がい 特別支援教育
高木 麻未 講師 [公認心理師]
社会心理学 対人行動
荒屋 昌弘 助教 [公認心理師・臨床心理士]
臨床心理学 児童福祉 支援者支援
中村 千珠 助教 [公認心理師・臨床心理士]
サイコソコロジー 臨床心理学

ACCESS MAP



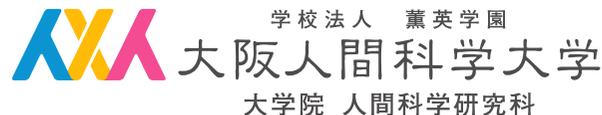
最寄駅から大学まで
阪急京都線「正雀」駅から徒歩5分 JR京都線「岸辺」駅から徒歩10分



人間科学専攻 修士課程(2年課程)
<心理学専門職コース・心理学総合コース>
大阪人間科学大学大学院 検索

The Graduate School of Osaka University of Human Sciences

大阪人間科学大学 大学院 人間科学研究科 2024



大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科

大阪人間科学大学大学院では、人びとが心身の健康に向けた力を十分に発揮し、より良い人生を目指すことができるように、健康に関する科学的研究とその成果を実践に活かすことができる専門家の育成を目的としています。

本大学院の特色は、心理学専門職の国家資格である公認心理師を目指す『**心理学専門職コース**』と、これまで培ってきた専門領域をより発展させるためのリカレント教育や心理学の学術的探求を行う『**心理学総合コース**』の2つのコースにあります。

これらのコースによって、大学院生個人の成長のみならず社会全域の発展についても貢献しうる教育の充実化を図っています。



Admission policy

本研究科が求める人物像

1. 心理学に関連する基礎知識と十分な基礎学力及び社会人基礎力をそなえている者。
2. 人びとの健康の回復、維持、そしてその増進に寄与する志向を持つ者。
3. 研究を実践に活用して社会に貢献する意欲を有している者。



長期履修制度について 自分のペースで仕事と学習の両立を実現!

長期履修制度とは、職業を有するなどの事情により、年間に履修できる単位数や研究・学習活動に充てられる時間が限られているため、標準修業年限(2年)では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象に、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することにより、学位の取得を可能とする制度です。長期間でマイペースに学べ、無理せず仕事と大学院での学びが両立でき、じっくり時間をかけて学ぶことができます。

申請資格

- ・職業を有し、就業している者(正規雇用者に限らず、主として当該収入により生計を維持している者)で、著しく学習時間の制約を受ける者
- ・家事、育児、長期介護などにより、著しく学習時間の制約を受ける者

履修期間

3年又は4年のいずれか(長期履修の開始時期は入学時点とし、学年の途中から開始することはできません。また、履修期間は延長できません。)

POINT

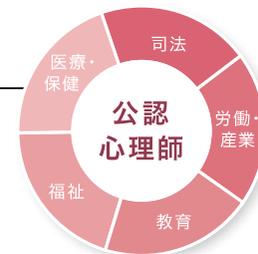
心理学専門職コース

- 悩める人たちの支援を行う心理専門職である公認心理師受験資格者の養成を行うことを目的としたコースです。
- 心理カウンセリングの技法はもとより認知行動療法、応用行動分析、ストレスカウンセリング、解決志向アプローチなどセラピーに通じた心理学について幅広くそして深く学びます。
- 公認心理師受験資格に関心を持つ人をサポートする教育を行います。

※公認心理師国家試験を受験するためには、卒業した大学において公認心理師受験資格取得に必要とされる学部科目を修めておく必要があります。必要な学部科目の履修状況については、卒業したあるいは卒業する大学に確認してください。

公認心理師が活躍する領域は数多くあります。

- スクールカウンセラー ● 病院の心理カウンセラー ● 会社の心理相談員
- 児童相談所や福祉施設の心理職 ● 家庭裁判所調査官
- 少年鑑別所や拘置所などの法務技官(心理) ● 警察の相談員 など



開講科目一覧(公認心理師受験資格取得に必要な科目)

心理実践科目

- 保健医療分野に関する理論と支援の展開 ● 福祉分野に関する理論と支援の展開 ● 教育分野に関する理論と支援の展開
- 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 ● 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 ● 心理的アセスメントに関する理論と実践
- 心理支援に関する理論と実践 ● 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 ● 心の健康教育に関する理論と実践

実習科目

- 心理実践実習

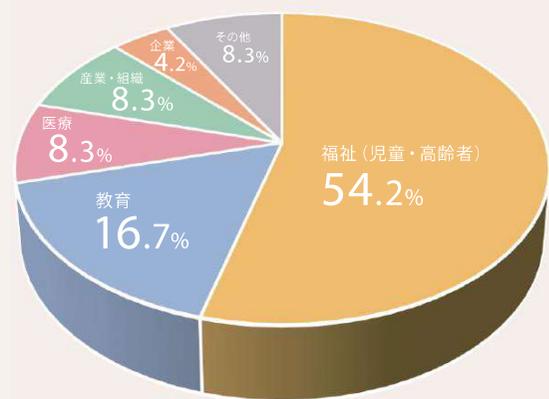
研究演習科目

- 人間科学研究演習Ⅰ ● 人間科学研究演習Ⅱ



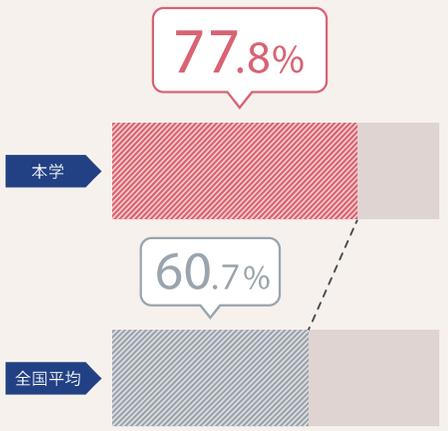


修了者の業種別状況



(2016年修了生から7年間の実績)

公認心理師の合格率



(2018年から5年間の平均)



STUDENT'S VOICE

公認心理師の受験資格を取得でき、また、応用行動分析を学ぶことができる大学院を探していたところ、インターネットで本学大学院のことを知り、興味を持ちました。研究室訪問時の先生との交流が印象に残り、ここなら安心して勉強できると感じて、進学することを決めました。

現在、授業は講義だけでなく実習もあります。毎週ケース・カフェラレンスがあり、大学院生が順番に実際の現場であったことを発表し、先生や院生のみなさんから意見やアドバイスをもらいます。

また、心理・教育相談センターで面接の陪席やプレイセラピーを実際に体験し、クライアントと接する機会もたくさんあります。

その他にも、心理検査やロールプレイングなどの授業もあり、院生の時からたくさん練習する機会があります。指導の先生は現場経験豊富な先生なので、これまでの経験を活かし、臨床のコツを学ぶことができます。

本学大学院の魅力は先生との距離が近く、何でも質問しやすい環境であることです。少人数で授業をしているので、意見や考えを自由に発言することができます。

また、修士論文や実習で困ったことなども相談しやすいところが魅力です。国家試験対策もあるため公認心理師取得に向けて集中して勉強することができます。

将来は、外国の方も気軽に相談できる窓口を作りたいです。現在、日本にいる外国人は年々増加しているため、外国人の母親の育児不安や子どもの不登校などの問題を解決できるカウンセラーになることを目指しています。

そのために、授業や実習で心理支援が必要とされる様々な分野を学び、自分の視野を広げたいです。

李玉蓮さん
大阪人間科学大学大学院
人間科学研究科 人間科学専攻 心理学専門職コース

公認心理師として活躍する 修了生の声

高校生の時に心理学に関心を持ち、より深く学びたいと考え、大阪人間科学大学に入学しました。大学では心理学の基礎知識などを修得しながら「ねたみ」について心理的側面から研究しました。さらに研究を続けたかったことに加え、公認心理師の国家資格取得を目指すため、大阪人間科学大学大学院に進学することに決めました。本大学院では教育や福祉、医療の現場で数多くの実習を体験できます。小・中学校の実習では、子どもたちの成長を間近で感じられ、とても印象的でした。また、先生方との距離が近く、資格取得のサポートも充実しています。実習で実践力を磨きながら公認心理師を目指す上で、最適な環境だと考えます。

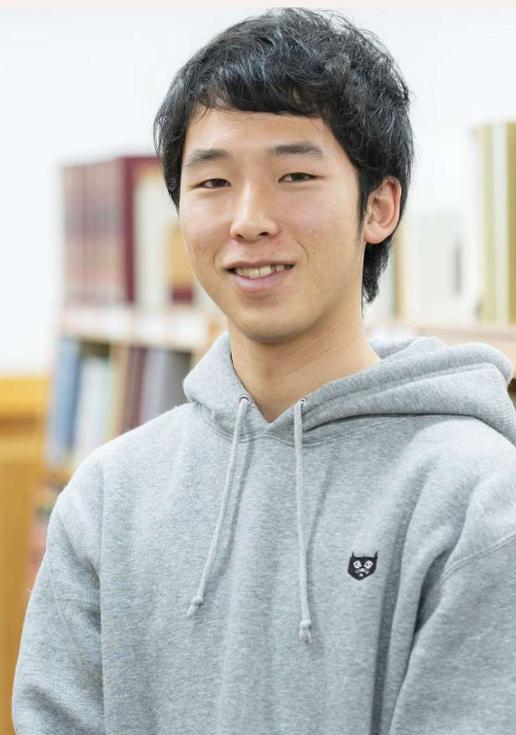
現在は公認心理師として、障がいのある18歳から29歳までの方を対象にした自立訓練、就労移行支援に携わっています。日常生活を送る上で必要な文字の読み書き、買い物の仕方、料理をする際の一連の流れ(必要な材料の整理、値段の確認、作り方を調べること)、余暇の過ごし方などを伝え、実践しながら様々な経験を積んでもらえるよう支援を行っています。

仕事のやりがいは、自身が支援した方が「今までできなかったことが経験を通してできるようになること」です。一方で難しく感じる点は、長期的に対象者の方に向き合い、根気強く支援を行っていく必要があることです。さらに、支援の方法に「正解」はありません。対象者の方の小さな成長や変化をしっかりと感じ取り、その方にあった最適な手法を見出しながら対応を重ねています。

大阪人間科学大学大学院を目指している皆さんには、ぜひ長期的な目標を持って有意義な学生生活を送ってほしいと思います。皆さんのお越しをお待ちしています。

森恒通さん

2019年3月 大阪人間科学大学 人間科学部
健康心理学科(現心理学部 心理学科) 卒業
2021年3月 大阪人間科学大学大学院
人間科学研究科 人間科学専攻
心理学専門職コース 修了



心理学総合 コース

POINT

- 心理学、医療、教育などにおいて、心身の健康に関連する仕事に従事している人や、これから専門の業務に進もうとする人に対するリカレント教育の場を提供します。
- 大学で学んだ心理学や他の行動科学の研究を深めることもできます。
- 看護師、保健師、教員、その他人びとの健康に関連する現場において、対人援助の更なるスキルアップを目指す人、心理学の研究を継続したい人への教育を行います。

修了後の進路

- 医療・保健・教育・社会福祉における専門職
- 企業におけるメンタルヘルス担当者
- コミュニティにおける相談業務職など高度な対人援助職
- 健康分野における研究者

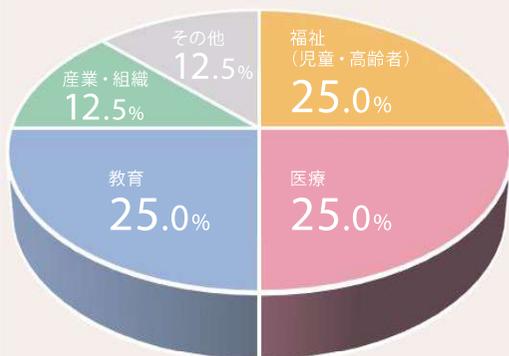
開講科目一覧

※カリキュラムは変更になる場合があります。

特論科目	●精神医学特論 ●社会福祉学特論 ●応用行動分析学特論
特殊講義科目	●人間科学特殊講義I ●人間科学特殊講義II
演習科目	●心理学研究法演習 ●行動観察・分析法演習 ●ソーシャルリサーチ演習 ●多変量解析法演習 ●質的研究演習
実習科目	●健康心理カウンセリング実習 ●健康心理アセスメント実習
研究演習科目	●人間科学研究演習I ●人間科学研究演習II

一部公認心理師対応科目を受講することができます。

修了者の業種別状況



(2016年修了生から7年間の実績)

修士論文題目 (一部)

- 行動上の問題がある生徒への応用行動分析に基づく支援が及ぼす効果
- 血液透析療法を受ける患者のレジリエンス尺度の開発
一信頼性・妥当性の検討
- 精神科看護師のワークモチベーション測定尺度の開発
- 集団音楽療法による意欲の促進と「生き甲斐」との関係性の検証
- 学業的援助要請と自己効力、結果予期、結果価値との関連性についての検討

修了生の声



西林 百合 さん

2020年3月 大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科
人間科学専攻 心理学総合コース 修了
職種：看護師

私は大阪府看護協会の教育研修部に所属し、認定看護師教育課程で主任教員として勤務しています。看護の臨床の現場では長年、救急医療の第一線で救急看護師として勤めてきましたが、次のステップとして教育に携わりたいと考え、5年前から看護協会に転職しました。そのことも重なり、対人間に関する教育に欠かせない心理面も考慮したかわりを行えるようになるためにも、大学院でさらに心理の学びを深めて、成人教育を実施する糧としたいという考えから大学院進学を決めました。大阪人間科学大学大学院には、職業を有する等の理由により、年間に履修できる単位数や研究・学習活動に充てられる時間に限りがある場合でも、計画的に教育課程を履修し、働きながら大学院の修了を目指す「長期履修制度」が用意されています。仕事と大学院を両立しながらじっくり時間をかけて学べるこの制度が大きなポイントとなり、進学を決めました。

大阪人間科学大学大学院は、臨床現場で実績を積んだ多彩な教員陣が名を連ねており、各領域での実践経験をもとにした最新の知識や業界動向、支援方法などを存分に修得できることが最大の魅力です。さらに、先生方は私たち学生一人ひとりをきめ細やかにバックアップしていただき、自身の研究が計画的に進むよう熱心にサポートしていただけます。周りの学生も多様なバックグラウンドを持ち、双方で刺激を受けながら学びを進めることができる環境も非常に有意義なものでした。

大学院への進学は、皆さんの人生において大きな転機となる重要な局面かと思えます。進学の目的や、目指す目標はそれぞれ異なりますが、この環境では個々の求めているものがしっかり尊重され、満足感の得られる教育を受けることができます。大阪人間科学大学大学院は、あなたの求めていることが叶う場所であると思います。

修了生の声



北村 智子 さん

2021年3月 大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科
人間科学専攻 心理学総合コース 修了
職種：看護師

慢性疾患を持つ患者さまは、自己管理ができなかったという自責の念や、医療従事者から注意深く診られることから、こころの病を持つことが少なくありません。そんな中、制限が守れない患者さまがいた際に、どのように協働しながらアドヒアランス（患者さま自身の積極的な治療参加）を高めていくかが大切です。その点で、看護師は患者さまにとって最も長く、そして最も近くにいる対人援助職なので、その役割や影響は大きいと考えます。そこで、慢性疾患の患者さまの看護に心理学の専門的な視点や考え方を活かすことができればと思い、大学院への進学を決めました。

大阪人間科学大学大学院は個性的かつ多様性のある教員が多く、私にとって未知だった社会問題やこころの病について深く教わる貴重な機会となりました。また、私と同様に社会人の仲間も在学しており、共に主体的に取り組み、切磋琢磨することで一人では乗り越えられないような困難も突破できることを学びました。大学院生室の雰囲気は明るく、自由度が高い印象で、自分で調べたり、考えたり、根気よく取り組む粘り強さなど、自主性を重んじる空気がありました。研究や国家試験対策に没頭できる素敵な環境だと思います。

今後の目標は公認心理師を取得し、将来的には教員の仕事をすることを目指しています。年齢や職歴に関係なく、心理学を学びたいという純粋な想いがあればぜひ大阪人間科学大学大学院を目指してみてください。きっとここに「答え」があるはずです。